

# 豊川市都市計画道路網見直し検討 作業フロー

平成二六年度

**【第1回】**  
 作業部会(H26.11.6)  
 委員会 (H26.11.28)

- 見直し検討の進め方について
- 道路交通の課題(案)について

**【第2回】**  
 作業部会(H27.2.20)  
 委員会 (H27.3.25)

- 道路交通の課題について
- 将来道路交通ビジョン(案)について

**1 都市計画道路の現況整理**

- 都市計画道路の計画決定状況を整理
- 都市計画道路の整備状況を整理
- 都市計画道路の構造及びネットワーク形成上の問題箇所の抽出

**2 交通需要特性の把握**

- 交通需要の背景整理
  - 豊川市の人口、人口密度、産業、施設立地状況等を整理
  - 鉄道、バスによる公共交通網の整備状況を整理
- 交通需要特性の把握
  - 第5回中京都市圏パーソントリップ調査(以下「第5回PT」とする)より、豊川市に関連する交通の特性や、過去のパーソントリップ調査結果より手段構成などの推移を把握
  - 代表交通手段別、目的別、ゾーン別の発生集中交通量、都市内都市間交通流動などを分析
  - 高齢者の交通行動特性の把握(65歳以上、75歳以上)

**3 道路交通状況の把握**

- 道路交通センサスによる国県道における自動車交通量、ピーク時旅行速度、大型車混入率
- 鉄道路切部の交通状況の把握
- バス路線等における交通混雑箇所
- 交通事故の発生状況(危険箇所)
- 歩道の設置状況

**4 上位・関連計画等の整理**

- 道路交通環境を取り巻く社会経済の潮流(低炭素社会、超高齢社会への対応等、防災機能の強化、都市活性化等)
- 第5回PT調査における将来自動車交通需要(目標年次H47)
- 国県の道路整備に関する方針(国道、県道の長期構想)
- 豊川市のまちづくり方針(都市計画マスタープラン)、まちづくり資源分布
- 豊川市の交通、防災関連施策

**5 道路交通の課題整理**

- 都市計画道路見直し検討にあたっての課題
- 都市計画道路ネットワーク構築からの課題
- 超高齢社会、交流社会に対応したまちづくりからの課題
- 防災まちづくりからの課題

**6 豊川市がめざす将来道路交通ビジョン**

- 将来道路交通ビジョン(理念、目標)
  - ＜目標設定の視点＞
    - 交流・にぎわいの創出
    - 都市の安全性の確保
    - 生活圏相互の連携強化
    - 都市の活力の維持向上
- 将来道路網の基本方針
  - 都市の骨格を形成する幹線道路網の方針
  - 魅力あるまちづくりと一体となった道路網の方針

平成二七年度

**【第3回】**  
 作業部会(H27.10.7)  
 委員会(H27.10.30)

- 将来交通量推計について
- まちづくりと一体となったまちづくりについて

**【第4回】**  
 作業部会・委員会  
 (H27.12月～H28.1月頃)

- 将来都市計画道路網案について
- 未整備都市計画道路の見直し検討案について

**【第5回】**  
 作業部会・委員会  
 (H28.2月～H28.3月頃)

- 整備促進都市計画道路の整備方針案について

**7-1 将来交通量推計**

- 第5回PT調査における自動車交通量予測結果(目標年次H47)及び配分手法に基づく路線別の将来交通量を推計
- 豊川市の将来都市像を反映した人口・土地利用フレームとの整合性を確保した配分対象OD表の作成
- 配分対象ネットワークの作成
- 将来交通量推計を実施し、路線別交通量、混雑度、混雑区間を通過する自動車の経路等、推計結果を解析
- 主要なアクセス時間の短縮効果の把握

**8 将来都市計画道路網案の作成**

【 現行都市計画道路の位置づけ確認と新規都市計画道路の検討 】

- 都市の骨格を形成する都市計画道路網案
  - 都市計画道路等の機能分類
    - 都市道路：主要幹線、都市幹線
    - 地区道路：地区幹線、補助幹線
  - 車線数、標準幅員構成、交差点構造
- 魅力あるまちづくりと一体となった都市計画道路網案
  - 都市拠点、生活拠点、交流拠点形成と道づくり
  - 防災まちづくりと一体となった道づくり
  - 歩行者・自転車の安全性、快適性確保と道づくり等

「将来都市計画道路網基本構想」

**7-2 目指すべき交通環境**

- 交流人口の増進寄与
- 歩行者の安全性
- 通過交通の削減
- 延焼遅延効果等

**9 未整備都市計画道路の見直し検討**

- 見直し検討対象路線・区間の抽出と概要整理
- 見直し検討
  - ＜まちづくりの視点からの検討＞
    - 地区の交通環境改善の視点
    - 地区の防災活動の視点
    - 公共交通の利用環境の視点
    - 街並み形成、住環境改善又は保全の視点
  - ＜交通処理の視点からの検討＞
    - 検討対象路線を整備した場合、しない場合における周辺道路網への影響を定量的に検証(「7-1 将来交通量推計」を活用)
- ⇒現計画を踏襲 or ルート・幅員・機能等の変更 or 廃止
- ⇒法53条の規制緩和に関する検討(事例調査等)

**10 整備促進都市計画道路の整備方針の作成**

- 整備優先順位検討対象路線・区間の抽出
- 道路整備優先順位設定の考え方を検討(成果指標、定量的・定性的評価指標の設定)
- 評価項目及び評価ウェイトの設定(総合評価加点方式)
  - ＜成果指標達成の視点＞
    - 実現すべき整備テーマに効果的な路線、区間の選定
      - 例) ICアクセス30分圏の構築に向けて
      - 例) ○○地区の通過交通半減に向けて
  - ＜定量的評価の視点＞
    - 各種便益、費用便益比(B/C)の算定
  - ＜定性的評価の視点＞
    - 道路機能、にぎわいづくり、市民生活、防災等の優先性が向上する要因
    - 事業化可能性の検証(市財政規模を踏まえた整備可能量)
- 道路整備優先順位の設定